

## 第 39 回日本自然災害学会学術講演会に参加しました（2021/3/19-3/20）

テーマ：学会発表

場 所：オンライン

URL：[https://www.jsnds.org/annual\\_conference/](https://www.jsnds.org/annual_conference/)

3月19日（金）～20日（土）の2日間、第39回日本自然災害学会学術講演会がオンラインで開催されました。当研究所からは、災害リスク研究部門、人間・社会対応研究部門、情報管理・社会連携部門、地震津波リスク評価（東京海上日動）寄附研究部門から10名の教員が発表を行いました。各発表者の講演題目等は下記の通りです。

また、以下2点の発表に対して、第39回学術講演会 発表優秀賞が贈呈されました。

I-3 防災教育（1）・社会防災（1）新家杏奈（東北大学大学院）共著者：当研究所教員

「中学生にもできる津波避難者の思考・移動変化の調査手法の開発と実践:気仙沼市立鹿折中学校防災学習の事例」

II-2 津波（1）・河川（1） 門廻充侍（東北大学災害科学国際研究所）

「東日本大震災における宮城県での遺体発見場所と犠牲者住所の関係」

今後も当研究所では各種学会、シンポジウム等を通して、多くの研究成果を国内外に発信して参ります。

※下線は当研究所所属の教員

発表者	タイトル
渡邊 勇, <u>佐藤翔輔</u> , <u>今村文彦</u>	東日本大震災の教訓の理解が防災行動に及ぼす効果の定量評価
新家杏奈, <u>佐藤翔輔</u> , <u>今村文彦</u>	中学生にもできる津波避難者の思考・移動変化の調査手法の開発と実践:気仙沼市立鹿折中学校防災学習の事例
<u>門廻充侍</u> , <u>今村文彦</u>	東日本大震災における宮城県での遺体発見場所と犠牲者住所の関係
<u>佐藤 健</u>	仙台市「杜の都防災力向上マンション」認定制度と認定事例
定池祐季	北海道胆振東部地震被災地における生活再建支援制度
保田真理, 邑本俊亮	減災意識向上と減災行動につながる教育手法の一考察 — with コロナの時代でも持続性を保持するために —
<u>佐藤翔輔</u>	令和元年東日本台風と令和2年7月豪雨における「犠牲者ゼロ」地域の共通点と課題
市川 健, 那須野新, 天谷香織, 檜館 晋, <u>佐藤翔輔</u> , 橋本雅和, <u>今村文彦</u>	地域コミュニティが関わる河川維持管理の事例分析 —宮城県小西川を対象にした質的調査から—
宮本 龍, <u>Anawat Suppasri</u> , <u>今村文彦</u>	地震動の大きさを考慮した津波被害関数に関する一検討